

Nittoグループは、ステークホルダーに安心・安全な製品を提供するために、開発・設計から廃棄に至るバリューチェーン全体において以下の取組みを行っています。

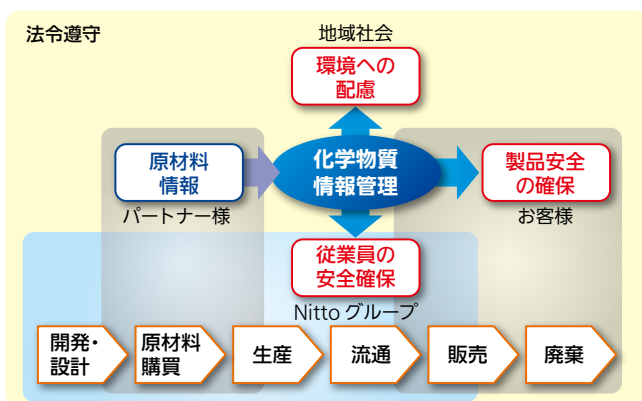
化学物質管理の取組み

社会の変化を先取りし、事業を展開するすべての国・地域の法とその精神を遵守した上で、企業としての社会的責任を果たすべく化学物質情報の管理を行っています。

原材料に含まれる化学物質の情報および、Nittoグループで製造される化学物質の情報を適正に管理することで、製品の安全や従業員の安全を確保し、環境へも配慮しています。また、お客様に対しても製品に含まれる化学物質の情報を適正かつ迅速に開示するとともに、紛争鉱物[※]に関する情報の提供も行っています。

※ 紛争地域で産出され、武装勢力の資金源となっている鉱物

化学物質情報管理フロー



情報管理体制の構築

近年、化学物質に対する社会からの高い関心やグローバル化を背景に、各国・地域の法規制変化への迅速な対応が求められています。

Nittoグループは、2007年の欧州におけるREACH規制強化を機に、原材料化学物質情報および各国・地域の法規制情報について、日本が中心となって一元管理してきました。現在、法規制への対応強化に向けて、エリア主体の情報管理体制の構築を進めています。

2015年には、欧州エリアにおいてエリア主体での法規制対応が可能となりました。米州エリアにおいても2018年を目標に体制の構築を進めています。さらには、東アジア(中国)への展開も開始し、今後はすべてのエリアで自律的な情報管理を行います。

エリア管理体制の構築状況

2005	2010	2015	2020
		2006	EU Restriction of Hazardous Substances (RoHS)
		2007	EU Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals (REACH)
	2007		日本エリア
	2010		欧州エリア
		2015	米州エリア
		2015	東アジアエリア
		2016	南アジアエリア

品質管理の取組み

お客様の要求を満たす安全な製品とサービスをお届けするために品質の管理を行っています。

品質の確立、継続的な品質の維持・改善を図るとともに、開発・設計から販売段階において品質異常やクレームなどの品質に関わるリスクを未然に防止する活動に努めています。

未然防止活動

製品品質を確保するために、設計や作業工程で起こりうる不具合を漏れなく予測し、十分に対策が行われているか調べるFMEA(Failure Mode and Effect Analysis)や、製造拠点に関わらず同じ品番の製品は同じ品質を保つSBSQ(Same Brand Same Quality)などに取り組んでいます。

また、これまでも品質に関する基礎教育は実施してきましたが、より専門的な教育を施すことで品質管理に携わる「人材」のレベルアップを図り、品質管理レベルの底上げを進め

品質管理フロー



米州エリア：現地スタッフによる品質教育

ています。2014年度までは、日本、中国、南アジアエリアの製造・加工拠点を対象に階層別の品質教育を実施してきました。2015年度は、欧州・米州エリア、韓国、台湾にまで対象エリアを拡大し、自ら品質課題を抽出し解決することができる「人材」の育成に力を入れています。

今後は、各エリア主導での教育体制を確立し、お客様に満足していただける品質づくりを目指します。

調達管理の取組み

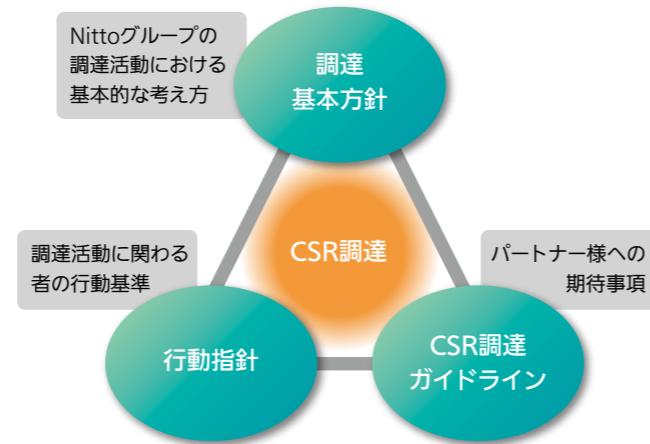
調達基本方針

Nittoグループはお客様やパートナー様をはじめとするステークホルダーの皆様から信頼され、選ばれる企業であるため、調達活動においても企業の社会的責任を果たします。

2016年2月、Nittoグループの調達活動における基本的な考え方として「調達基本方針」を新たに制定しました。

これを遂行するために、調達活動に従事する者は企業倫理や社会常識からかい離しないよう、「行動指針」に従って行動することが求められます。

さらには、調達基本方針およびNittoグループビジネス行動ガイドラインに基づくパートナー様への期待事項を「CSR調達ガイドライン」として制定し、公正かつ公平な取引や企業倫理と法の遵守、環境への配慮などCSR調達への取組みを強化しました。



Nittoグループは、パートナー様と共存共栄し、すべてのステークホルダーから信頼していただける企業を目指します。

グリーン調達

積極的に環境に配慮されているパートナー様から、環境負荷の少ない資材を選定し優先的に調達するグリーン調達を推進しています。

物流管理の取組み

お客様に満足していただける製品、サービスを遅延なく効率的にお届けするために、物流の管理を行っています。

グローバルでの適正な物流管理により製品の品質を確保し、環境への配慮も行っています。

物流管理体制の構築

販売業務の標準化やそれを支えるシステムの開発により物流の効率化を図っています。これまでは日本を中心とした体制の構築を進めてきましたが、2014年度より韓国への展開を開始し、2015年度は中国、台湾における体制構築に取り組みました。

環境負荷物質排出量の削減

温度管理を必要とする製品輸送には、通常保冷機能を有するコンテナを用い、内部温度を一定に保っています。しかしながら、一般のコンテナに比べ高コストで、環境負荷も高まるため、その対策としてコンテナ内部に断熱材を設け、温



断熱材施工後のコンテナ内部

度変化を最小限に抑えました。既に一部のコンテナに採用され、8年間の累積で約360tonのCO₂を削減することができました。

この取組みにより、コスト低減を実現できた上、CO₂排出量削減のみならず再利用による廃棄物の削減にも貢献したことから、一般財団法人日本物流団体連合会が表彰する「第17回物流環境大賞」の「物流環境負荷軽減技術開発賞」を受賞しました。今後も、先駆的な技術開発などにより環境に配慮した物流管理に努めます。

製品に関わるリスクの管理

Nittoグループは、製品に関わるこれらの取組みを行うとともに、顕在化するリスクに適切に対応しています。

影響を最小化するために製品リスクマネジメント委員会を設け、定期的に情報を共有しています。委員会では、以下のような3つの分科会によりスピーディーかつグローバルな対応を目指した活動を進めています。

今後も継続して、さらなるリスク管理体制の強化を図ります。

リスクマネジメント分科会	主な活動内容
品質	<ul style="list-style-type: none"> 仕入品および原材料に関わるリスク対応 購入品品質保証協定書の締結推進 重要クレームの再発防止
化学品	<ul style="list-style-type: none"> REACH^{※1}規制(CLP^{※2}含む)対応 各国化審法への対応 SDS(安全データシート)のGHS^{※3}対応 化学物質自主管理規程の見直し
物流	<ul style="list-style-type: none"> GHS表示への対応(中国GHS表示含む) EPA(経済連携協定)・FTA(自由貿易協定)への対応 輸出時における情報開示の対応 輸出管理令の表示対応

※1 REACH:欧州における化学品の登録・評価・認可および制限に関する規則

※2 CLP:化学品の分類・表示・包装に関する規則

※3 GHS:化学品の分類および表示に関する世界調和システム